

みずかみふなやまじんじや
「水上布奈山神社のクヌギ」

- 指 定 千曲市指定天然記念物 平成 23 年 4 月 7 日
- 所 在 地 千曲市大字戸倉字鎮守 1990 番地 3
- 所 有 者 水上布奈山神社
- 概 要 クヌギ 1 本 目通り：約 2.4m 樹齡：不明
- 公 開 いつでも可

クヌギ（ブナ科）は、本州（岩手・山形県）以南、四国、九州、朝鮮半島、台湾から中国、ヒマラヤまで広く自然分布しています。どこでも重要な樹種で、中国では6世紀以前より栽培され、日本でも古名を「ツルバミ」と呼び、古代から人びとの生活に深く関わっていました。とくに薪や炭の材料として優れ、各地で積極的に植樹もされてきました。

水上布奈山神社社誌(1984)には、「大正 13 年 12 月の境内立木樹数調帳によると、立木数 51 本、内目通り周囲 6 尺（1.82m）以上の大木 10 本、すべて大木は櫟くぬぎで、最大の木 7 尺 3 寸（約 2.25m）」と記載されています。

水上布奈山神社のクヌギは、かつて境内に群生していた名残りの 1 本です。どんぐりを拾って近隣の山々に植樹した母樹となるなど、地域の人びとの生活に密着してきた名木です。

